

## 「那賀川水系河川水辺の国勢調査（鳥類）」の結果速報について

－那賀川（長安ロダムを含む）・桑野川の鳥類－

河川水辺の国勢調査は、河川を環境という観点からとらえた定期的、継続的、統一的な河川に関する基礎情報の収集整備を図るものであり、国土交通省那賀川河川事務所では、那賀川・桑野川の直轄管理区間において、同調査を平成3年度より実施しています。

平成20年度は鳥類調査を実施しており、平成4年度、平成9年度、平成14年度に引き続いて4巡目の調査となります。

平成19年4月より長安ロダムが徳島県から国土交通省に移管されたため、今回初めて、那賀川（直轄管理区間）と那賀川上流の長安ロダムにおいて同時に調査を実施しています。

今年度、春の渡り期および繁殖期の調査結果は、別表1，2のとおりです。

※今回の速報結果は、最終的な確認種目録の確定（調査結果の確定及び妥当性の検証）を行うスクリーニングを経ていないため、暫定版です。

## ◆今回の発表

今年度は、春の渡り期および繁殖期までの2期の調査が終了しており、那賀川水系の河川水辺の国勢調査【河川版】における初確認種のうち注目種を速報として発表します。

- ・5月上旬の春の渡り期調査では、那賀川の太京原橋付近を河口方面へ飛翔するシロハラトウゾクカモメ1個体が確認されました。

（シロハラトウゾクカモメは外洋性の海鳥で、河川で確認されるのは非常に珍しいです。）

- ・6月上旬の繁殖期調査では、ツバメチドリ2個体が確認されました。

（ツバメチドリは旅鳥または夏鳥として渡来し、これまで徳島県内での繁殖も確認されていますが、確認例は少なく重要種と呼ばれています。）

平成20年 6月19日

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

## 【問合せ先】

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

副 所 長 藤岡 康男 (内線204)

調査・品質確保課長 野本 稔浩 【河川関係】 (内線351)

事業計画課長 清水 宰 【ダム関係】 (内線6121)

TEL: 0884-22-6461 (那賀川河川事務所)

TEL: 0884-66-0121 (長安ロダム管理所)

シロハラトウゾクカモメ *Stercorarius longicaudus*



(平成 20 年 5 月 1 日 那賀川 5km)

写真提供：那賀川河川事務所

◆指定区分：環境省レッドリストおよび徳島県レッドデータブックでの指定  
(なし)

◆形態

全長 51～54cm。翼開長 80～110cm。雌雄同色。トウゾクカモメ類の中で最もスマートな体形で、成鳥は中央尾羽 2 枚が著しく長い。

◆分布

ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の寒帯・亜寒帯で繁殖し、冬は熱帯海域から南半球まで渡るものもいる。

日本では旅鳥として、早春から初夏に主に太平洋岸の沖合で記録がある。本州中部以南の海上では、4 月下旬から 5 月中旬にかけて見られることが多い。

◆生態

外洋性の海鳥で、繁殖期以外は沖合で生息することが多い。小型のカモメ類、アジサシ類等を襲って吐き出させた物を食べたり、自ら魚類を捕獲して食べる。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				繁殖							

←-----→  
日本で確認されやすい時期

◆ 国土交通省 河川・溪流環境アドバイザー（日本野鳥の会会員）

小林 實 先生のコメント

① 徳島では、非常に珍しく 3 例目である。

1 例目 : 1996 年 9 月 小松島で幼鳥を確認。

2 例目 : 2007 年 9 月 鳴門海峡で幼鳥を確認。

② 外洋性の鳥で、河川（那賀川）で見つかる事は稀である。

③ 飛来した理由として、気候（台風）等の影響を受けたのではないと思われる。

④ 貴重な鳥なので今後の様子を見守りたい。

ツバメチドリ *Glareola maldivarum*



(平成 20 年 6 月 3 日)

写真提供：那賀川河川事務所

◆指定区分

環境省レッドリスト(平成 18 年) : 絶滅危惧Ⅱ類

徳島県レッドデータブック(平成 13 年) : 絶滅危惧Ⅱ類

◆形態

全長 23～25cm。雌雄同色。成鳥夏羽は額からの上面が灰褐色で、目から喉にかけて黒い線で囲まれている。腹からの体下面は白い。嘴は黒く、基部が赤色をしている。

◆分布

ユーラシア大陸東部の中国北東部からインド北部で繁殖し、冬はインドからオーストラリア北部付近で過ごす。

日本では旅鳥または夏鳥として渡来する。徳島県では夏鳥で、繁殖の記録もある。

◆生態

農耕地、埋立地、河原、干潟等、開けて植生の疎らな露出地面の多いところを好む。空中を飛びながら、飛翔中の昆虫類をくわえとって食べる。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			繁殖								

◆国土交通省 河川・溪流環境アドバイザー（日本野鳥の会会員）

小林 實 先生のコメント

① 環境省や徳島県の絶滅危惧Ⅱ類に属している野鳥で今後の様子を見守りたい。

参考：「原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>」（1995 中村・中村）、「日本の野鳥 590」（2000 真木・大西）

「日本の野鳥」（1998 叶内・安部・上田）

「徳島県鳥類目録」（1988 日本野鳥の会徳島県支部目録部）

「鳥類のレッドリストの見直しについて」（2006 年 環境省報道発表資料）

「徳島県版レッドデータブックー徳島県の絶滅のおそれのある野生生物」（平成 2001 年 徳島県）

表 1 【河川版】春の渡り期・繁殖期調査結果（速報）

目名	科名	種名	重要種の選定基準				外来種	
			①	②	③	④		
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ						
バリカン	ウ	カワウ						
コウノトリ	サギ	ゴイサギ						
		アマサギ						
		ダイサギ						
		チュウサギ			NT	NT		
		コサギ						
カモ	カモ	オンドリ			DD	VU		
		マガモ						
		アヒル						
		カルガモ						
		オカヨシガモ						
タカ	タカ	ヒドリガモ						
		ミサゴ			NT	VU		
キジ	ハヤブサ	トビ						
	ハヤブサ	ハヤブサ		国内	VU	VU		
キジ	キジ	コジュケイ					国外	
		キジ						
チドリ	チドリ	コチドリ						
		イカルチドリ						
		シロチドリ				VU		
		メダイチドリ						
	シギ	ハマシギ						
		アオアシシギ						
		クサシギ						
		キアシシギ						
		イソシギ						
		ソリハシシギ						
		ホウロクシギ				VU	VU	
	チュウシャクシギ							
	ツバメチドリ	ツバメチドリ				VU	VU	
カモメ	シロハラトウゾクカモメ							
	セグロカモメ							
	カモメ							
	ウミネコ							
ハト	ハト	コアジサシ				VU	VU	
		ドバト						国外
カッコウ	カッコウ	キジバト						
		ホトトギス						
アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ						
		アマツバメ						
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ						
キツツキ	キツツキ	アオガラ						
		コガラ						
スズメ	ヒバリ	ヒバリ						
	ツバメ	ツバメ						
	セキレイ	キセキレイ						
		ハクセキレイ						
		セグロセキレイ						
	ヒヨドリ	ヒヨドリ						
	モズ	モズ						
	ツグミ	イソヒヨドリ						
		クロツグミ						
	ウグイス	ウグイス						
		オオヨシキリ						
		セツカ						
	ヒタキ	キビタキ						
	シジュウカラ	ヤマガラ						
		シジュウカラ						
	メジロ	メジロ						
	ホオジロ	ホオジロ						
		アオジ						
	アトリ	カワラヒワ						
シメ								
ハタオリドリ	スズメ							
ムクドリ	ムクドリ							
カラス	ハシボソガラス							
	ハシブトガラス							
13目	31科	69種	0	1	7	8	2	

…… 重要種  
 …… 外来種  
 …… 今回発表種

※今回の速報結果は、最終的な確認種目録の確定（調査結果の確定及び妥当性の検証）を行うスクリーニングを経していないため、暫定版です。

表2 【ダム湖版】繁殖期調査結果（速報）

参 考

目名	科名	種名	重要種の選定基準				外来種
			①	②	③	④	
ベリカン	ウ	カワウ					
コウノトリ	サギ	ミゾゴイ			EN	NT	
		ゴイサギ					
		アオサギ					
タカ	タカ	ミサゴ			NT	VU	
		ハチクマ			NT	CR+EN	
		トビ					
		サシバ			VU		
		クマタカ		国内	EN	CR+EN	
キジ	キジ	コジュケイ					国外
		キジ					
チドリ	チドリ	イカルチドリ					
ハト	ハト	キジバト					
		アオバト					
カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				NT	
		ツツドリ					
		ホトトギス					
フクロウ	フクロウ	アオバズク				NT	
		フクロウ					
アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ					
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン					
		カワセミ					
キツツキ	キツツキ	コゲラ					
スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ		国内	EN	CR+EN	
	ツバメ	ツバメ					
		コシアカツバメ					
	セキレイ	キセキレイ					
		セグロセキレイ					
	ヒヨドリ	ヒヨドリ					
	カワガラス	カワガラス					
	ミソサザイ	ミソサザイ					
	ツグミ	クロツグミ					
	ウグイス	ヤブサメ					
		ウグイス					
	ヒタキ	キビタキ					
		オオルリ					
	カササギヒタキ	サンコウチョウ					
	エナガ	エナガ					
	シジュウカラ	コガラ					
		ヒガラ					
		ヤマガラ					
		シジュウカラ					
	キバシリ	キバシリ				VU	
	メジロ	メジロ					
	ホオジロ	ホオジロ					
	アトリ	カワラヒワ					
		イカル					
	ハタオリドリ	スズメ					
	カラス	カケス					
		ハシボソガラス					
ハシブトガラス							
12目	29科	51種	0	2	6	8	1

重要種  
外来種

※今回の速報結果は、最終的な確認種目録の確定（調査結果の確定及び妥当性の検証）を行うスクリーニングを経していないため、暫定版です。

## 注 1) 重要種の選定基準

- ①：「文化財保護法」（1950）における特別天然記念物、国・県・市町村指定の天然記念物
- ②：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1993）における国内希少野生動植物種
- ③：「改定・レッドリスト（鳥類）」（環境省、2006）  
EX：絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：地域個体群
- ④：「徳島県の絶滅のおそれのある野生生物－徳島県版レッドデータブック－」（徳島県、2001）  
EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：地域個体群、AN：留意
- ※「徳島県の希少野生生物の保護及び継承に関する条例」（2006）の指定希少野生生物に鳥類は含まれない

## 注 2) 外来種のカテゴリー

国外：人為的に国外より持ち込まれたと考えられる国外移動種

※外来種の選定基準は、「外来種ハンドブック（日本生態学会、2002）」の「日本の外来種リスト」に従った。



◆調査の概要【ダム湖版】

- ・調査方法：スポットセンサス法、ラインセンサス法、船上調査、広域定点調査、夜間調査
- ・調査範囲：長安ロダム貯水池および周辺、下流河川那賀川、流入河川那賀川、流入河川坂州木頭川
- ・調査時期：繁殖期、越冬期

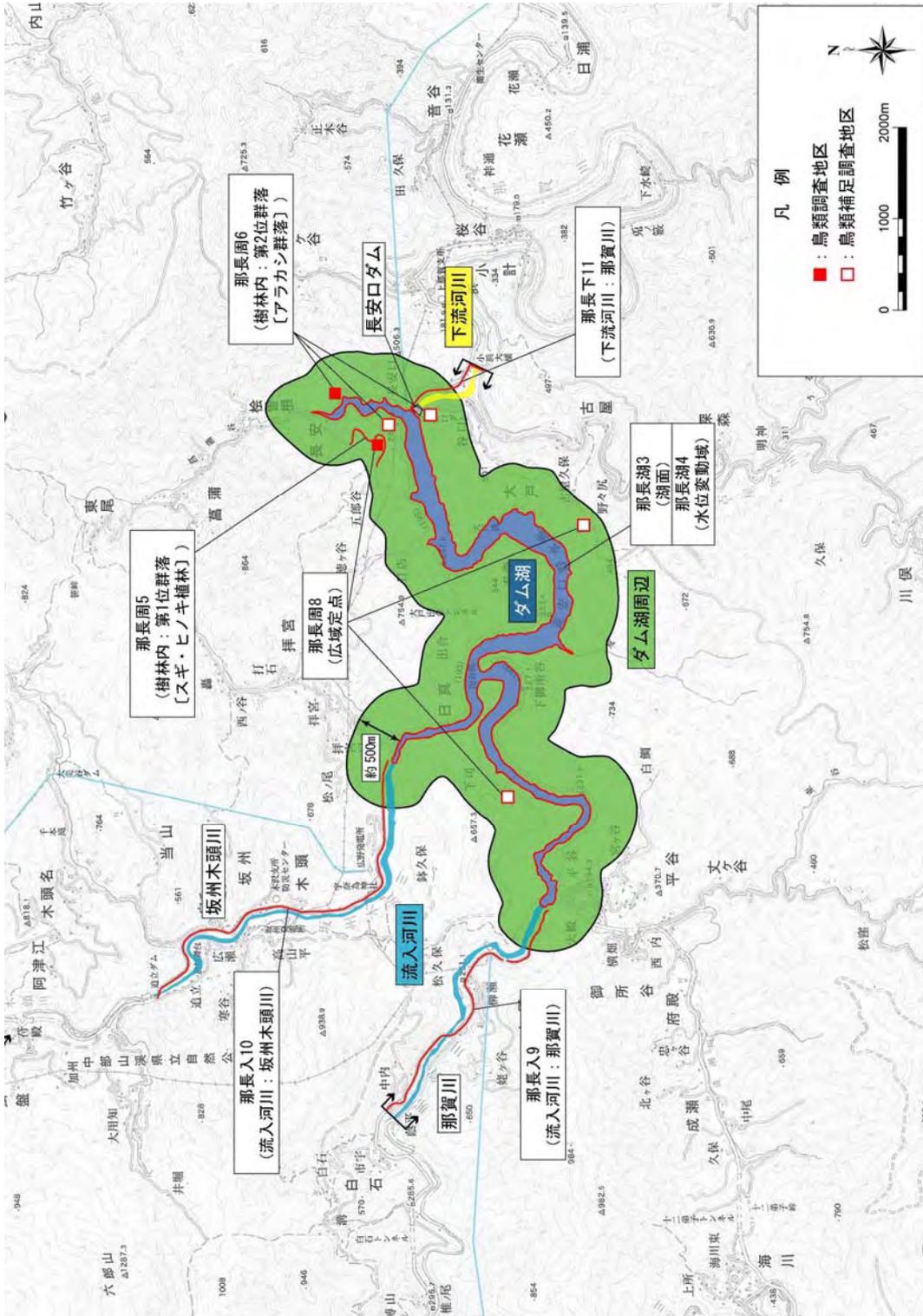


図2. 長安ロダム河川水辺の国勢調査【ダム湖版】調査地区位置図